



2024年4月30日

各 位

会 社 名 岩塚製菓株式会社
代表者名 代表取締役社長 COO 榎 大介
(コード番号 2221 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役経営管理本部長
星野 忠彦
(TEL:0258-92-4111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年2月8日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

連結業績予想数値の修正

2024年3月期通期 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	21,800	450	2,550	1,800	321円19銭
今回発表予想(B)	22,000	600	2,800	1,950	349円40銭
増減額(B-A)	200	150	250	150	
増減率(%)	0.9	33.3	9.8	8.3	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	20,386	△213	5,454	3,970	708円51銭

2. 修正理由

米菓業界では、市場全体の販売は昨年を上回って推移している模様ではありますが、コスト面では原材料費の高止まりに加え人件費や物流費の増加が見込まれるなど厳しい状況が続いております。さらに、夏場の天候不順の影響から原料米事情が悪化するなど、調達面においても厳しい環境下にあります。

当社におきましては、第3四半期の業績が判明した時点で、国産米の安定調達など堅実な販売姿勢が一定の評価を得てシェアを確保できており、年度末まで増収基調を保つべく主力商品主体に営業強化することとし、損益面では、堅調な販売実績を背景にしながらも、季節的に生産量が抑えられ製造原価が押し上げられるほか、競争激化から販促経費が嵩むものと

考え、今年度通期については、売上高は期初計画どおり 21,800 百万円の達成を見込むとともに、営業利益は修正目標 350 百万円を 450 百万円として上方修正いたしました。

当連結会計年度における通期の業績は、主力商品主体に堅実な販売を続けることができ、増産に伴う原価低減効果を享受、営業損益段階では年度を通じて増収増益基調を維持することができました。売上高は、当社の堅実な営業姿勢の評価が高く予想を上回る販売増に繋がりを、22,000 百万円(計画比 0.9%増)と伸長する見通しとなり、損益面では、増収基調を堅持したなかで製造原価の改善が図られた結果、営業利益 600 百万円(修正計画比 33.3%増)と黒字幅が拡大する見込みであります。

以上から、上記のとおり業績予想を修正いたします。また、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益の修正に合わせて上記のとおりといたします。

- ※ 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上